

秋田県信用組合が取り組む 「田舎ベンチャービジネス クラブ」による起業支援



人 口減少率が1・26%（平成26年）と全国で最も大きな数値を示す秋田県。その中でも北秋田市は人口減少率、高齢化率とも秋田県の平均を上回り、深刻な少子高齢化に直面している。

地域経済の活性化を図るため、ビジネス交流会「田舎ベンチャービジネスクラブ」を発足して、会員企業の新事業の立ち上げなどをサポートする秋田県信用組合。同ビジネスクラブの主な活動内容をみたうえで、第1次産業を起点とした2つの事業立ち上げの支援事例についてレポートする。

人口減少は購買力の低下と税収の減収に直結し、地域の経済力を低下させる。人口減少に歯止めをかけるには、若年層世代の県外流出を抑制することが重要。そのためには、地域の核となる産業を生み出し、若年層の雇用の場を創出していく必要がある。

県内唯一の信用組合である秋田県信用組合は、こうした状況に強い危機感を抱き、平成22年2月に北秋田市にある3支店（鷹巣・森

吉・合川支店）が中心となって、「田舎ベンチャービジネスクラブ」を発足。会員企業の発展、ひいては北秋田市経済の活性化を目指し、会員企業相互の交流と起業研究の場を提供することとした。

ベンチャースピリッツが旺盛な取引先を集め発足

「秋田県の中でも県北、特に北秋田市周辺は地域の経済力が弱いのです。平成22年当時、まだ地方創生ということは叫ばれていませんでしたが、地域の少子高齢化は深刻な状況でしたので、このままでは経済は立ち行かなくなる、地域経済の活性化に取り組みなくてはならないということから、困難に立ち向かい、新しいことにチャレンジするベンチャースピリッツをお持ちの皆様にお集まりいた

新たな地域産業創出のため 産地化とブランド化に注力 会員企業同士の交流・連携と起業研究の場を提供する

き、田舎ベンチャービジネスクラブを立ち上げたのです」

自ら先頭に立って地域活性化の旗を振る秋田県信用組合の北林貞男・理事長はこう話す。

田舎ベンチャービジネスクラブの会員資格は、北秋田地域に居住し、秋田県信用組合と取引があること、そして事業意欲が旺盛で、今後、事業拡大もしくは新事業への進出を検討中であることなど。当初は、建設業、農業、製造業などの経営者12名を会員として北秋田地区でスタートしたが、平成26年には秋田地区、大館地区でも発足。平成27年8月現在、会員者数

は56社まで拡大した。

主な活動は、会員同士の連携による新商品・新事業の開発や起業研究のほか、地域資源のブランド化と会員企業の販路拡大を目指す。た首都圏での商談会への出席、商談会の地元開催など。会員企業による栽培講習会にも積極的に取り組んでいる。

首都圏での商談会としては、昨年、東京ビックサイトで開催された「東京ビジネスサミット」に11社、両国国技館で開催された「しんくみ食のビジネススマッチング展」に5社が秋田県信用組合のブースにおいて出席。地元商談会としては、鷹巣支店を会場に「秋田うまいもの発見プロジェクト」（12社出展）、泉支店を会場に「秋田すくももの発見プロジェクト」（21社出展）を開催。多数のバイヤー、商社、コンサルティング会社等を招いて行われた。

起業研究のテーマとして 五つの事業を会員に提案

クラブ発足当初から、会員の自己啓発の意味を込め、地方再生、



「しんくみ食のビジネススマッチング展」に出展する会員企業

農業再興、または6次産業化や休耕地活用など新たな農業ビジネスをテーマに有識者による講話を開催するとともに、地域活性化に関して秋田県や北秋田市など行政機関との連携を深めてきた。

起業研究のテーマとして、まず北林理事長が提案したのが、農業など1次産業を起点とした事業。具体的には①にんにく栽培、②ドジョウ養殖、③木炭など木質バイオマスによる自然エネルギー活用、④わらび農園、⑤薬草栽培の5事業。もちろん、このほかでも会員が意欲的に取り組みたい事業

があれば検討し、早期の事業化を目指した。

「ビジネスクラブを設立してから毎月、起業に向けた勉強会を行いました。農業が主力産業ですの

で、とにかく付加価値の高い生産物をつくり出して、収益向上を目指すそうと会員の皆様に呼びかけたのです。秋田県の出先機関や北秋田市などの地元行政機関、クラブ会員でもあった日本農業法人協会の会長さんにもご指導・アドバイスをいただき、5事業を中心に事業化の可能性について検討を重ねました」（北林理事長）

事業化の初陣となったのは、①にんにく栽培だ。クラブ発足から約1年後の平成23年3月に会員企業である建設会社が、北秋田市米内沢に農業法人「しらかみファーマーズ」を設立。同月に認定農業者（法人）の認定も受け、にんにくの生産・販売・加工事業に乗り出した。

にんにく生産は現在、中国が8割のシェアを握っている。国内産では、青森県が全国の8割を占めているが、こうした産地に追いつ



北林貞男・秋田県信用組合・理事長